地下鉄車両の3Rの取り組みに関する事柄

■リデュースに関する事柄
■リユースに関する事柄
■リサイクルに関する事柄
■環境に関する法律

西暦	元号	地下鉄車両の3Rの取り組みに関する事柄
1927	昭和2	機器、部品等の仕様を共通化 日比谷線13000系車両と東武鉄道70000系車両登場
1954	昭和29	4両が里帰り プエノスアイレス市で活躍した丸ノ内線500形車両
1958	昭和33	銀座線01系**車両** 4両を熊本電気鉄道に譲渡
1961	昭和36	銀座線100系車両登場 LED照明 操舵台車を採用
1962	昭和37	銀座線にLED照明搭載車試運転開始 駅構内でもLED照明採用開始
1964	昭和39	千代田線6000系車両 260両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡〔～2017（平成29）年〕
1966	昭和41	有楽町線7000系車両 40両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡
1968	昭和43	東西線05系車両 80両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡〔～2011（平成23）年〕
1970	昭和45	千代田線北綾瀬駅で太陽光発電システムを使用開始
1971	昭和46	共通IC乗車券「PASMO」を導入 2両を東京メトロが買い戻す
1981	昭和56	長野電鉄に譲渡されていた3001号車、3002号車 東京メトロ、社会環境報告書を初めて発行
1984	昭和59	有楽町線・副都心線10000系車両登場 ダブルスキン構造の車体を採用
1989	平成元	東西線5500系車両 30両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡 東葉高速鉄道2000系車両と機器、部品の仕様を共通化
1991	平成3	東西線05系車両（13次車）登場
1993	平成5	氷蓄熱空調システムが開始
1995	平成7	市電・地下鉄保存館「レトロでんしゃ館」に展示 名古屋市営地下鉄東山線107号車、108号車
1996	平成8	計28両を高松琴平電気鉄道に譲渡〔～2000（平成12）年〕 名古屋市営地下鉄東山線・名城線車両 計72両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡
1997	平成9	アルゼンチン共和国プエノスアイレス市に譲渡〔～2001（平成13）年〕 名古屋市営地下鉄東山線・名城線車両 計78両を
1999	平成11	計6両を福井鉄道へ譲渡〔～1999（平成11）年〕 都営三田線6000形車両 計72両をインドネシア共和国ジャカルタに譲渡
1998	平成10	アルゼンチン共和国プエノスアイレス市に譲渡〔～2001（平成13）年〕 名古屋市営地下鉄東山線・名城線車両 計78両を
1994	平成6	銀座線2000形車両 2両を銚子電鉄に譲渡
1993	平成5	駅に分別ゴミ箱の設置開始 日比谷線3000系車両 39両を長野電鉄に譲渡〔～1997（平成9）年〕
1991	平成3	銀座線2000形車両 22両を日立電鉄に譲渡〔～1995（平成7）年〕
1991	平成3	東西線5500系車両 120両を東葉高速鉄道に譲渡〔～1994（平成6）年〕
1991	平成3	都営大江戸線12－1000形試作車両 豊島区千早フラワー公園に展示
1991	平成3	「N5メトロカード」発売
1989	平成元	丸ノ内線300形車両、400形車両、500形車両 車両冷房開始（日比谷線・東西線・千代田線・有楽町線・半蔵門線）
1988	昭和63	「メトロカード」販売開始 05系車両登場
1988	昭和63	部品の仕様を共通化 丸ノ内線02系車両登場 銀座線01系車両と機器、
1995	平成7	VVVFインバータ制御を採用 大阪市営地下鉄20系車両登場
1995	平成7	銀座線01系車両登場 高周波分巻チョッパ制御を採用 東西線05系アルミ・リサイクル車登場
1994	平成6	銀座線2000形車両 2両を銚子電鉄に譲渡
1994	平成6	東西線行徳検車区の車両自動洗浄機で水の再利用を開始
1981	昭和56	都営大江戸線12－1000形試作車両 豊島区千早フラワー公園に展示
1981	昭和56	「N5メトロカード」発売
1971	昭和46	銀座駅・日本橋駅で駅冷房が開始
1970	昭和45	銀座線1001号車 交通博物館へ寄贈
1966	昭和41	回生ブレーキ付チョッパ制御を採用 千代田線6000系車両
1966	昭和41	回生ブレーキ付チョッパ制御を採用 千代田線6000系（試作車）車両登場
1964	昭和39	東西線5000系車両登場 セミステンレス製無塗装車体
1962	昭和37	東急電鉄5200系車両登場 セミステンレス製無塗装車体
1961	昭和36	東京地下鉄道1000形車両登場 鋼製車体
1958	昭和33	日比谷線3000系車両登場 セミステンレス製無塗装車体
1954	昭和29	丸ノ内線池袋～御茶ノ水間開通 蛍光灯照明を採用した300形登場
1954	昭和29	東京地下鉄道1000形車両登場 鋼製車体
1954	昭和29	日本で初めての地下鉄が上野～浅草間で開業
1954	昭和29	アルミ製車体
1954	昭和29	東西線5000系車両登場 アルミ製車体
1954	昭和29	山陽電気鉄道2000系車両登場 アルミ製車体
1954	昭和29	東急電鉄7000系車両登場 日比谷線3000系車両と規格を統一
1954	昭和29	東武鉄道2000系車両登場 日比谷線3000系車両と規格を統一

東急電鉄7000系車両（左）、日比谷線3000系車両（中央）
東武鉄道2000系車両（右）

千代田線6000系車両

銀座線01系車両

丸ノ内線400形販売車両

秋父鉄道に譲渡された
都営三田線6000形車両

高松琴平電気鉄道600形車両

インドネシアで活躍する東西線05系車両

インドネシアで活躍する有楽町線7000系車両

東武鉄道70000系車両

車体材質
- 鋼製車体
- ステンレス製車体
- アルミニウム製車体
- アルミニウム製ダブルスキン車体

制御装置
- 抵抗制御
- チョッパ制御
- VVVFインバータ制御

電動機
- 直流モータ
- 交流誘導モータ
- 永久磁石同期モータ

元号	世の中の出来事
昭和4	瀬戸大橋開通
昭和28	青函トンネル 開通
昭和36	国鉄 分割民営化
昭和39	鉄道事業法公布
昭和41	地下鉄博物館オープン
昭和42	衛星放送開始
昭和43	東京都環境影響評価条例施行
昭和44	振動規制法施行
昭和45	沖縄返還
昭和46	国の公共事業に環境影響評価制度を導入
昭和47	廃棄物処理法施行
昭和51	環境庁発足
昭和56	大阪万博開催
昭和59	アポロ11号月面着陸に成功
昭和61	騒音規制法施行
昭和62	大気汚染防止法施行
昭和63	初の超高層ビル「霞ヶ関ビル」完成
平成元	公害対策基本法施行
平成2	都電最後付近でさよなら運転実施
平成3	ピートルズ来日
平成5	東京オリンピック開催
平成7	東海道新幹線開業
平成9	ソ連・世界初の有人宇宙飛行を成功させる
平成10	NHKテレビ本放送を開始
平成11	ニューヨーク株式市場大暴落
平成12	Windows95 日本語版発売
平成13	PHSサービス営業開始
平成14	阪神・淡路大震災発生
平成15	地下鉄サリン事件
平成16	環境基本法施行
平成17	屋久島、白神山地、姫路城、法隆寺
平成19	日本初の世界遺産登録
平成20	皇太子さまご結婚
平成21	ソ連崩壊
平成22	バブル崩壊
平成23	再生資源利用促進法施行
平成26	日本人初宇宙飛行 秋山豊寛氏
平成28	消費税率を施行、税率3％
平成29	ベルリンの壁崩壊
平成29	国の重要文化財に指定及び機械遺産に認定
平成28	地下鉄博物館所蔵の1001号車
平成26	マイナンバー制度始まる
平成23	消費税率を8％に引き上げ
平成22	東日本大震災
平成20	地上波テレビアナログ放送終了
平成21	小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶり帰還
平成20	裁判員制度スタート
平成19	リーマンショックで世界同時株安に
	初代iPhone発表
	郵政民営化スタート
	〔通称 事業者の環境配慮促進法〕施行
	〔環境情報の提供の促進等による特定事業者の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律
	個人情報保護法全面施行
	クールビズスタート
平成17	東京地下鉄株式会社設立
平成16	地上デジタル放送開始
平成15	住民基本台帳ネットワーク開始
平成14	資源の有効な利用の促進に関する法律施行（3R提唱）
平成13	建設リサイクル法施行
平成12	グリーン購入法施行
平成11	2000円札発行
平成10	介護保険制度スタート
平成9	地球温暖化対策の推進に関する法律施行
平成7	コンピューターの2000年問題
平成5	欧州11カ国 欧州単一通貨ユーロ導入
平成2	長野オリンピック開催
昭和63	環境影響評価法（環境アセスメント法）施行
昭和62	地球温暖化防止京都会議で京都議定書が採択
昭和61	長野新幹線開業
昭和60	世界初の量産ハイブリッドカー「プリウス」発売
昭和59	東京湾アクアライン開通
昭和51	消費税率を5％に引き上げ